

科学基礎論学会 2022年度 秋の研究例会プログラム

日付：2022年 11月6日（日）

会場：慶應義塾大学三田キャンパス

参加費：無料（非会員：1,000円）

※感染症対策の一環として会員・非会員ともに参加登録が必須となります。詳細は学会ウェブサイトをご確認ください。

A会場(南校舎6階465教室)

9:45～12:00 「AIに主体性を帰属させること:学際的アプローチの中間報告」

オーガナイザ 宮原 克典(北海道大学)

- 1 長坂 真澄 (早稲田大学)
「運動と身体:人工物に我々が主体性を見出す時」
- 2 新川 拓哉 (神戸大学)
「人工的存在者の主体性と倫理」
- 3 竹下 昌志 (北海道大学)
「コンパニオンアニマルから考える人工主体との関係」
- 4 池原 優人 (北海道大学)
「アクターネットワーク理論から見た人工主体」
- 5 濱田 太陽 (株アラヤ)
「人類のデータを使って学習する人工主体の公共的役割を考える」

12:00～12:30 科学基礎論学会奨励賞発表および授賞式【A会場】

12:30～13:30 昼休み・企画広報委員会（同階461教室）

13:30～16:00 「システムの哲学の構築に向けて」

オーガナイザ 菊池 誠(神戸大学)

- 1 玉置 久 (神戸大学)
「システムの時代にシステムを考える」
- 2 森 一之 (三菱電機株式会社)
「System of System (Sos) による価値創出」
- 3 大倉 裕貴 (富山県立大学)
「システムの「ウチ・ソト」をぼんやりと考える」
- 4 黒江 康明 (同志社大学・京都工芸繊維大学)
「境界と関係性を視座とするシステム学—その構築に向けて—」
- 5 五十嵐 涼介 (京都大学)
「システムの工学と哲学をつなぐ」

16:00～18:00 「'Conception' が豊かになるとき」

オーガナイザ 田村 高幸(千葉大学)

- 1 入江 俊夫 (東邦大学)
「概念が形成される時 —「規約」・決断・アспект」
- 2 目時 修 (城西国際大学)
「創造性を学ぶための学習環境についての考察」
- 3 榎野 沙央理 (大正大学)
「哲学することを教えることはできるか」
- 4 田村 高幸 (千葉大学)
「想像・創造性に向けた概念形成・発展を支えるもの」

※ 受付開始は9時20分からとさせていただきます。

※ 会員控室は同階466教室です。教室内は飲食禁止のため飲み物の提供は行いません（水分補給のためにご自分専用の飲料を持ち込むことは可能です）。

※ 慶應義塾大学三田キャンパスでは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、換気設備を強化し、アルコール消毒液等を設置しております。参加されるみなさまにおかれましては、マスクの着用や、WEBサイトを利用した参加者登録の実施など、感染拡大防止にご協力ください。